

福島第一原子力発電所現地確認報告書

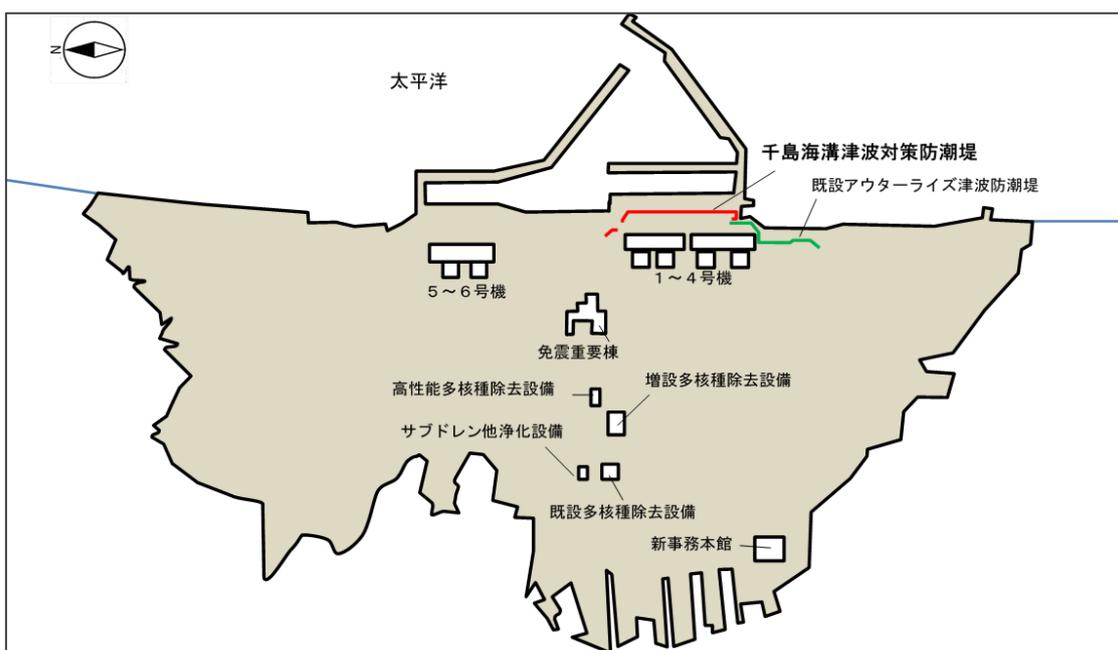
- 1 確認日
令和2年9月10日（木）
- 2 確認箇所
千島海溝津波対策防潮堤設置工事現場（1～4号機タービン建屋東側）
- 3 確認項目
千島海溝津波対策防潮堤設置工事の状況

4 確認結果の概要

東京電力では、将来発生が予想され切迫性が高いとされている千島海溝津波に対して、自主的な安全対策として1号機から4号機のタービン建屋東側に全長約600mの防潮堤の設置工事を行っている。

今回は前回（令和2年7月22日）に引き続き、工事の進捗状況を確認した。

- ・千島海溝津波対策防潮堤の設置箇所は図1のとおりであり、L型擁壁の据え付けは概ね完了していた。（写真1）
- ・前回の現地確認では、地盤の掘削工事などが進められていたが、今回は、側溝の敷設工事が進められていた。（写真2）
- ・防潮堤北側では津波襲来の際、海水を排水するためのフラップゲートの設置に向けた作業が行われていた。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
1号機タービン建屋東側付近
(北側から撮影)



(写真2-1)
1号機タービン建屋東側付近
(令和2年7月22日撮影)

(写真2-2)
同左
(令和2年9月10日撮影)



(写真2-3)
1号機タービン建屋東側付近
(側溝敷設工事の状況)



(写真2-4)
2号機タービン建屋東側付近
(側溝保管場所の状況)



(写真 2 - 5)
3号機タービン建屋東側付近
(側溝の養生の状況)



(写真 2 - 6)
4号機タービン建屋東側付近
(コンクリートが打たれ養生されていた。)



(写真 3)
防潮堤北側のフラップゲート設置に
向けた作業の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。